



〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-10-37 TEL&FAX 045-431-4070
HP:rangakusya.com FB:らんがく舎
e-mail rangakusha@33.netyou.jp

自分で選ぶ、いやだと言う

らんがく舎ではできるだけ相談して物事を決めるようにしています。食事作りでも一つ一つの作業は立候補してやってもらっています。時々誰も手を上げないことがあります、スタッフが代わりをすることはありません。だから時々はやりたくないなあと思いながらも手を挙げていることがあるかもしれませんが、そんな時はよくやってくれたとできるだけ褒めるようにしています。それでも先日は優太くんが「やりたくないなあ」とつぶやいたそうで、みんなが帰った後に早野さんが教えてくれました。こんなつぶやきを拾えるのも助手がいるからこそで早野さんには感謝ですが、このつぶやきで大事なものは「やりたくない」と意思表示したことです。

「らんがく舎の人たちはみんないい子ね」と他の施設の人から言われたことがあります。確かにめんどくさいことを言ったり、したりする人はいないなあと思います。だからこそ優太くんの「やりたくないなあ」を大事にしていきたいと思います。

しっかりした意思表示はとても大事です。

「おいしい!」と言わせたい

食べることが大好きな皆です。これは誰も同じですが気になることがあります。食べ過ぎはこちらでコントロールしますが、一番気になるのは誰も感想を言わないことです。

もともとらんがく舎のメンバーは、食事前まではいろいろ喋っていても食べ始め



梅を並べてくださいと言ったら、「電話番号みたいに並べます」と優太君。彼は時々こういう比喻表現をします。

ると黙食となるのはコロナが流行る前から。食事中の楽しい語らいやら、これおいしいね、といった語らいは当面避けなければいけません、「おいしい!」は言わせたい。だって実際おいしいものをみんなで作ってるんですもの。(詳しくはホームページの「今週のグルメ」をご覧ください)

もう一つの理由はお母さんの嘆きを聞いた事です。餃子が好きだからたくさん作ってあげてもあっという間に食べてしまい、美味しいも言わない。わかります、その嘆き。

そこで早野さんと相談して何とかおいしいと言わせるよう考えています。おいしいなんて感想を言うようになったらお母さんたちも作りがいがあるというものでよね。

ガパオライス感想

そんな美味しいを言わせよう作戦の一環として、今日の料理教室の味の感想をインタビューしました。

優太:ひき肉とピーマンと玉ねぎをいためて、ご飯にのせました。目玉焼きものせました。きゅうりとトマトのサラダを食べました。オクラのスープをのみました。ガパオライスの味はとってもおいしかったです。

青木:僕は玉ねぎの皮をむいて、宇田川さんにお手本を見せてもらって、それを見て自分で考えて切った。ミントとバジルとパクチーをとりました。ひき肉を炒めるのは最初は難しかった。前と後に押しちゃって注意された。

伊藤:きゅうりのたたきをやりました。きゅうりを棒でたたいて割った。早野さんが味付けをしてくれました。一個つまみ食べしました。箸を並べる仕事を今日は間違えませんでした。(スバラシイ! by 早野)

(伊藤君が卵をこぼして失敗しました:by 優太)

(誰でもありますからね by 伊藤)
オー、グッドな切り返しですね。

土田:ピーマンを切ってできあがりしました。野菜をいっぱい食べました。赤いピーマンと緑のピーマンが



おいしかったです。卵を3個も割って目玉焼きを作ったので、宇田川先生に怒られました。

祥太:Q:今日一番おいしかったのは何ですか？

A:ガパオライス

Q:ガパオライスのご飯の上に何をのせた？

A:こうやって、こうやって、こうやって

Q:目玉焼きとお肉とピーマンで一番おいしかったのはどれ？

A:目玉焼きとお肉

(祥太君は一問一答にこんな風に答えてくれました)



この日の人数は7人ですが、目玉焼きは全部で9個！残りの一つは誰かさんが椅子に食べさせちゃいました。

※みんなのインタビューを、つながりや助詞をちょっと直したうえで、みんなにも読んでもらいました。こんなことを繰り返すことで、言葉遣いが少しずつ進歩していきます。(下線部分は舎長が嬉しかったところです)

また今週は夏野菜が豊富に獲れ、枝豆を楽しみましたが、ゴーヤも二つばかりできました。



庭で採れたゴーヤを手に嬉しそうな土田君。

毎週のストレッチはじめました

毎月、落合さんにストレッチを指導して頂いていますが、らんがく舎でも毎週初めに独自のストレッチをすることにしました。内容は舎長が見たテレビ番組の真似です。

猫背で悩んでいたスタッフですが、この体操で背筋が伸び、視線が高くなりました。これからも継続していきたいです。

好きこそものの上手なれ

前原くん、Youtuber になる

以前から恐竜の面白さをみんなに広めたいという思いがあった前原くん。恐竜の本出版計画は挫折してしまいましたが、この度 YouTube に自作の動画をアップし始めました。ナレーションも自分で入れており、一人盛り上がりぶりがよく分かります。ぜひ、たくさんの人に見てもらい、みんなで盛り上がるサイトになるといいですね。らんがく舎の HP からも見られるので、ぜひご覧ください。

絵手紙好評

お家の人や普段お世話になっている人に、感謝の気持ちを込めた手紙をそれぞれ書きました。

書いた手紙はよい時期に渡そうとらんがく舎で保管していたのですが、青木君が「せっかく手紙を書いたから早く持って帰ってお父さんに渡したい」と言いました。手紙はその日に持って帰ってもらい、翌週伊藤君と青木君から「お家の人を手紙を喜んでくれた」と報告がありました。感謝の気持ち、伝わったみたいで何よりです。このようにリアクションがあると次の作業のモチベーションが上がります。

前の絵手紙も平澤さんから一人一人に違う絵柄の返事が来て感激でした。

みんなの作品や作業に対する感想をメンバーに直接伝えたり、らんがく舎までお知らせくださると張り合いが違ってきます。

誕生日カードや表彰状も嬉しさをより深く感じてもらうための仕掛けです。お家に持ち帰ったら一緒に喜んでもらえると(表彰状は褒めていただけると)皆の心に刻まれるのではないかと思います。

